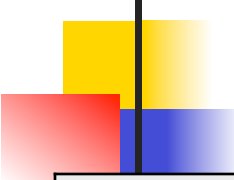


言語とジェンダー:

クリティカル・ディスコース(批判的談話)分析4

サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所

南 雅彦



男性と女性の言語スタイルの比較

男性の言語スタイル	女性の言語スタイル
より攻撃的、支配的で競争的なスタイル	とげとげしい言葉遣いをせず、より協力的なスタイル
独立した自己を求める	相手との親密な人間関係を求める
分析的で危険を顧みず物事を行なう傾向がある	情緒的で共同体意識を高めようとする
地位の上下を大切にする	親愛感や感情の触れ合いを大切にする
自信に満ち、指導力を持ち、悩みを打ち明けられると、それに対する解決策を提供する	悩みを打ち明けることで、甘えに似た依存感を助長する
公的な場面でよくしゃべり、はっきり主張し、断定的である	私的な場面では、よくしゃべり、私的な事柄に関して細かく詳しく話すが、公的な場面では黙りがちになる
聞き役に回るより、自分が知っていることを詳しく説明することを好む	男性が長い間、話し続けても聞いている

男性と女性の比較

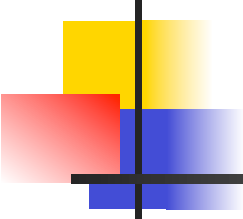
性差
Gilligan (1986)
Women = relational self, Eastern self

男性の言語スタイル	女性の言語スタイル
より攻撃的、支配的なスタイル	とげとげしい言葉を使わず、より協力的なスタイル
自立している自己	相互依存的な自己
分析的で危険を顧みず物事を行なう傾向がある	情緒的で共同体意識を高めようとする
地位の上下を大切にする	親愛感や感情の触れ合いを大切にする
自信に満ち、指導力を持ち、悩みを打ち明けられると、それに対する解決策を提供する	悩みを打ち明けることで、甘えに似た依存感を助長する
公的な場面でよくしゃべり、はっきり主張し、断定的である	私的な場面では、よくしゃべり、私的な事柄ですが、公的な場面
聞き役に回るより、自分が詳しく説明することを好む	聞いても聞いている

西洋的

東洋的

中国語では「長舌婦」という表現がある



男性語と女性語の尺度(スケール)

男性的スケール	女性的スケール
粗野である	情緒表現が豊かである
支配的である	小うるさく、事細かい
尊大である	きちんとした、ていねいである
積極的・攻撃的である	感受性が豊かである
感情を露出しない	感情露出傾向にある
きつい言葉を使用する	体裁を重視する
危険を冒す	話し方がソフトである
声大きい	デリケートである
向こう見ずである	対話相手をサポートし、話を円滑に進める

言語使用を権力具現装置として捉える支配モデル
(Dominance Framework)

支配モデル Lakoff, R. (1973)

- 語彙レベルにおける性差
 - **Shit**, you've put the peanut butter in the refrigerator again.
 - **Oh dear**, you've put the peanut butter in the refrigerator again.
great, cool, neat
 - What a **terrific** idea!
 - What a **divine** idea!
adorable, charming, sweet, lovely

言語使用を権力具現装置として捉える支配モデル
(Dominance Framework)

支配モデル Lakoff, R. (1973)

■ 語彙レベルにおける性差

- **Shit**, you've put the peanut butter in the refrigerator again.
- **Oh dear**, you've put the peanut butter in the refrigerator again.

neutral
男女使用可

great, cool, neat

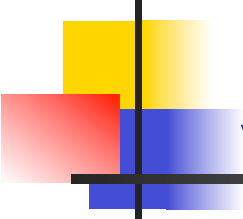
- What a **terrific** idea!

評価的形容詞
(evaluative adjectives)

feminine
女性限定

What a **divine** idea!

adorable, charming, sweet, lovely



支配モデル Lakoff, R. (1973)

- 文法レベルにおける性差

- 付加疑問文

断定回避

- Is John here?

- John is here, **isn't he?**

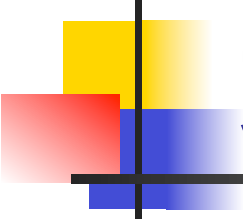
- イントネーション

- A: “When will dinner be ready?”

- B: “Oh . . . around six o'clock?”

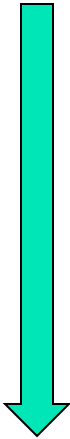
断定回避

ネガティブ・ポライトネス



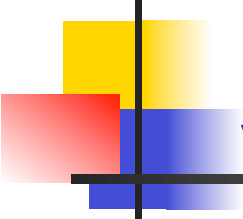
支配モデル Lakoff, R. (1973)

■ ポライトネスレベルにおける性差

- 
- Close the door.
 - Please close the door?
 - Will you close the door?
 - Will you please close the door?
 - Won't you close the door?

ポジティブ・ポライトネス

ネガティブ・ポライトネス

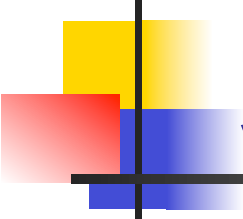


支配モデル Lakoff, R. (1973)

■ 語彙における性差

- He's a **professional**. man in the street
- She's a **professional**. woman in the street
- Mary is John's **widow**.
- *John is Mary's **widower**.
- **woman** sculptor
- ***male** sculptor

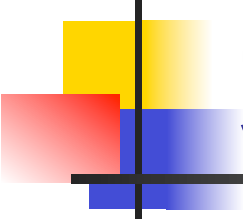
女流彫刻家
女弁護士
婦人警官
女刑事
女性神主
男芸者(幫間)



支配モデル Lakoff, R. (1973)

- 女性語の特徴 (Lakoff, 1990)
 - 母音を曖昧にするなどしばしば発音を**不確かにする**〔発音〕。
 - 指小辞を多用し、男性が使用するきつい語 (damn, shit) のかわりに、やわらかな語 (oh, dear) を用いる〔語彙〕。
 - 名詞や動詞よりも形容詞、とくに評価的形容詞 (例: adorable, charming, divine, lovely) を多用して、知的というよりは情緒的側面に訴える〔語彙〕。
 - “so, such” などの強意表現を多用して**正確さを避ける**〔語彙〕。
 - “you know, I guess, I mean, well, kind of, sort of” など断定を避けたつなぎの表現を好む傾向があり、ありとあらゆる**ヘッジ** (迂言的表現) を使う〔語彙〕。

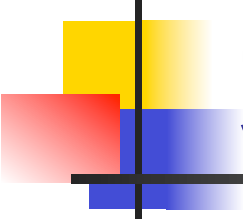
ネガティブ・プライトネス



支配モデル Lakoff, R. (1973)

- 女性語の特徴 (Lakoff, 1990)
 - 数詞の場合、男性は数字をそのまま用いるが、女性はしばしば「おおよそ (about, around)」のような修飾語 (概算的形容詞) を併用して **断定を避ける** [語彙]。
 - 質問調 (上昇調) のイントネーション・パターンを使用して、**不確かさ** を示したり、相手の許可を求める [イントネーション・統語・語用]。
 - 自分の意見をはっきりとは言わず、対話相手の同意を求めたり、**断定を避ける** ために付加疑問をよく用いる [統語]。
 - 断定性の弱い **丁寧な表現** (Won't you please ~ ?) を使うことで直接的な表現を避け、礼儀正しい [語用]。
 - 会話では、女性は遮られやすく、新しいトピックをさほど導入することがない [語用]。

ネガティブ・プライトネス



支配モデル Lakoff, R. (1973)

- 女性語の特徴 (Lakoff, 1990)
 - コミュニケーション・スタイルが協調的で、競争的ではない〔語用〕。
 - 第3者の発話を自分の言葉に直さず、直接引用を多用する傾向にある〔語用〕。
 - コミュニケーションがジェスチャーやイントネーションなど、言葉以外のものによってなされる。またイントネーションがバラエティに富んでいる〔イントネーション〕。
 - 文法的に正しい発話を心がけ、口語表現を避ける傾向にある〔文法全般〕。